

倉知延章（九州産業大学）

引きこもり・ニートへの就労と生活支援

ニートはなぜ就労が難しいのか

- 社会からはじき出されたまま戻れない
中退経験や高校以下の学歴
不登校経験や卒業直後に正社員になれない
コミュニケーションスキルが低い
ネガティブ志向が強く自信と自尊心が低い
- それに聴覚障がいによる影響が加わる
社会や家族からの孤立化、狭い聴覚障がい者
コミュニティへの不適応、情報不足による低い
認知機能、音声言語・手話によるコミュニケーションが
とれずに孤立化、聴覚障害者就労支援機関がほとんどない

ひきこもりはなぜ起こるか

- 発達障がいやメンタルヘルスの問題
 - メンタル不調にならないための心理的防衛
 - 家族力の低下
 - 専門的支援が届かない状態の長期化
 - それに聴覚障がいによる影響が加わる
- 社会や家族からの孤立化、狭い聴覚障がい者コミュニティへの不適応、情報不足による低い認知機能、音声言語・手話によるコミュニケーションがとれずに孤立化、聴覚障害者支援機関がほとんどない

就労や社会生活への再参加に向けた支援

- × 精神的健康の回復
- × 粘り強いアウトリーチ型の相談支援
- × 安心して回復できる居場所の確保
- × 自信や自尊心の回復（成功体験の積み重ね）
- × コミュニケーションスキルの獲得
- × 納得して働ける機会の確保

支援で活用されるスキル

- × 手話等のコミュニケーション技術
- × 援助関係作り
- × スtrenグスモデル・リフレーミング技術
- × 職場開拓技術と職場環境へのアプローチ技術

就労支援のモデル例

- アウトリーチによる援助関係作り
- 安心できる場の設定
 - ひきこもり経験のある聴覚障がい者によるピアサポート（PC、対人技能など）、セルフヘルプグループ
- ソーシャルワーカー等の就労相談
- 就労体験場所の確保と職場でのサポート
- 希望する就労時間・仕事の職場開拓と職場でのサポート
- 雇用への移行支援とフォローアップ

意識したいこと

- 第一言語が手話の対象者には支援者が手話ができることは重要な条件
- アウトリーチは拒否されることから始まる。そこからチャンネル合わせをしながら関係作りを進める。手話を教えてもらうことも一案
- 経験したことがすべて成功体験となるようにリフレーミングし、フィードバックする
- 本人の強みや得意なことを探し、活かす

既存の制度として考えられること

- 地域活動支援センター（安心できる居場所）＋地域生活支援事業の相談支援事業（アウトリーチ相談）
- 生活訓練事業（訪問型）＋就労移行支援事業の多機能型障害福祉サービス事業所